

あれ?

?!

まさか!?

これって 子ども虐待ですか

監修 松原康雄(明治学院大学 社会学部社会福祉学科 教授)

子ども虐待の多くは、
「悪いことをしている」という
認識がないまま起こっています。
確証がなくても、
あなたが「あれ?」「まさか!?’と感じたら、
相談や通告をしましょう。



オレンジリボンは
児童虐待防止の
シンボルです。

児童相談所
全国共通ダイヤル

(0570)064-000

発信元の市内局番などから管轄の児童相談所につながります。
※PHSや一部のIP電話からはつながりません。

うるま市役所 児童家庭課

「子ども虐待」を知っていますか？



子ども虐待は大きく4つに分けられますが、これらが重複して起きていることが少なくありません。

身体的虐待

- 首を絞める、殴る、蹴る、投げ落とすなどの暴力
- 逆さづりにする
- やけどをさせる
- 濡れさせる
- 冬に戸外に閉め出す
- 意図的に子どもを病気にさせる



ネグレクト (養育保護義務の拒否・怠慢)

- 適切な衣食住の世話をしない
- 家に閉じ込める (学校に登校させない など)
- 医療ネグレクト (病気になっても病院へ連れて行かない など)
- 子どもを家や車中に長時間放置する
- 子どもの情緒的欲求を無視する (愛情遮断 など)
- 同居人の虐待の放置



心理的虐待

- 大声や言葉による脅かし、脅迫など
- 子どもの心を傷つけることを言う
- 子どもを無視したり、拒否したりする
- 他のきょうだいと著しく差別的な扱いをする
- 子どもの前で配偶者などにDV (暴力、暴言、無視など) をする



性的虐待

- 性的ないたずらを強要・教唆する
- 性的関係を強要する
- 性器や性交を見せる
- ポルノグラフィーの被写体にする



「しつけ」のつもりで虐待になっていませんか？

しつけとは、子どもに社会性を持たせ、自立させるために行う家庭内での教育のことです。

大人の都合や期待を押しつけ、体罰や言葉で責めたりして従わせることはもちろん、発達段階を無視した早期教育などの不適切な行為は、「しつけのつもり」でも、子どもにとって有害ならば「虐待」になります。そして、どのような理由があっても、それらの行為が正当化されることはありません。



虐待が子どもに与える影響とは？

虐待は、子どもの心身の成長や人格形成に重大な影響を与えるだけでなく、次の世代にも虐待を起こすおそれがあります。

言葉や、学習の遅れなど
発達への影響

後遺症、低身長・
低体重、栄養不良など
体への影響

情緒不安定、自己否定感、
強い不安感など
心への影響

暴力性、自傷行為、
対人関係の形成など
行動への影響

虐待の根底には「育児不安」や「ストレス」があります

！ おもな虐待者は実母が6割を占めています

昔に比べ、家事や育児が楽になるような家電やグッズが増えましたが、多くの母親は「子育てが辛い」と感じています。乳幼児期の発達から性格、対人関係など、さまざまな不安や課題を抱え、悩んでいます。



しかも、唯一頼れるパートナーは、家から遠い職場で長時間働き、子育てに参加できていません。母親に本当に必要な「子育てをサポートする人の手」が届かず、不安やストレスのはけ口が子どもに向けられることがあるのです。



職場での
トラブル

過去に虐待を
受けていた
経験

パートナーの
子育て不参加

核家族化による
親族や地域社会
からの孤立

自分の
生活時間がなく
未来が見えない

正しい
子育ての方法が
わからない

夫婦関係の
不和や
家庭内暴力

社会経済や
収入が不安定

つらい気持ちを
わかってくれる
人がいない

！ ささいなことがきっかけで虐待は始まります

子育ての不安は、毎日の不安や心配が積み重なって生まれます。不安を抱えたままにしていると、ちょっとしたきっかけで虐待のスイッチが入ってしまうことがあります。また、親の価値観や教育方針から、よかれと思う気持ちやしつけをエスカレートさせてしまい、虐待を起こすこともあります。

好き嫌いが多く、食べさせようと工夫してつくった食事をへエッと吐き出してしまおう



夫に悩みを聞いてもらいたいが、家にいることが少ない

今日は
子どもとしか
話してあげない...

イライラして体罰
や傷つくような
言葉を吐き出し
てしまうように

「後で後悔するん
だけど、気持ちが
押さえてあげたい」



ごはんの代わりにお菓子をせがんで、与えるまで泣き止まない



一生懸命で
まくったのに...

こんな私を
誰が止めて！

そんな自分が嫌になり、そのストレスのはけ口として、さらに子どもへの言葉や暴力がエスカレートする





自分が

『虐待している?』

と思ったら...

だっこしてもミルクをあげようとしても泣き止まない子どもにイラつき、無視して家事をしていたことがあるけど、これって虐待?



子どもが机に落書きをしたので、子どもの手をたたきました。子どもは泣きましたが、体で覚えないとわからないし、自分もそうやって育てられましたから。

子どもは、ただあなたを愛し、愛されたいのです。それはあなたも同じではありませんか?

感情にまかせてたたいたり、ののしったりしたことを後悔し、自分を責めている人は少なくありません。

ピアノを習い始めました。練習を嫌がったり、同じところで間違えるので、ついどなったり、否定的な叱責をしてしまいます。でも、私は子どものことを思って...

あなたの気持ちをわかってくれる人たちがいます



子どものことや職場・家庭のトラブルからくるストレスや不安感ももととなり、子どもを必要以上に叱ったり、たたいたりしてしまうことがあります。まずは、その心の苦しさを、理解してくれる人に話すことが大切です。

あなたの話を決めつけたりせずに聞いてくれます



気持ちを話してみよう

子どもに虐待をしたと感じることがあり、続けてしまうのではと不安になる

「ちょっと助けてほしい」と言えず、自分ですべてやらなければいけない気がする

イライラすると子どもにひどいことを言うってしまう。母親失格では?

子どもをかわいと思うことができず、いっしょにいるのがつらい

ほかの子よりできるようになることが遅く、自分の育て方が悪いと思ってしまう



会って話すのはちょっと苦手だし面倒...

一人で抱え込まないで地域の電話相談や、ホットラインに電話をかけてみませんか?



連絡先は裏表紙へ

地域ぐるみで子育てをサポート



子どもや保護者の様子や養育環境の状況から、虐待に気づく要因がいくつかあります。

子どもの状況

- 乳児期の子ども
- 未熟児や障害児
- 何らかの育てにくさを持っている など

子どもの様子

- 不自然なあざや傷がある
- 理由もなく、身長や体重が増えない
- いつも不潔にしている
- 表情が乏しく、笑顔が少ない
- おびえて家に帰りがたらない
- 人間関係を築けず、孤立している など

保護者の状況

- 望まぬ妊娠・出産
- 若年(特に10代)の妊娠
- 医療につながっていない精神障害や依存症などの疾患
- マタニティブルー、産後うつなどの精神的に不安定な時期
- 同居人からの暴力(DV)がある
- 保護者自身の被虐待経験

保護者の様子

- 親族・地域社会との交流をしない
- 子どもを置いて、外出する
- 性格が攻撃的・衝動的
- 衣食住の世話をしない
- 医療を受けさせない
- 子どもに対して無関心、過干渉
- 夫婦・家族関係の不仲がある

養育環境の状況

- 著しく不衛生な生活環境
- 未婚を含む、サポートのないひとり親家庭
- 経済的困難
- 子連れの再婚家庭
- 転居を繰り返す
- 健診や予防接種などに参加しない

ただし...

これらの要因が重なることで、虐待は起こりやすくなりますが、あてはまるすべての家庭に虐待が起きているわけではありません。周囲のサポートがあることで、虐待に至らない家庭がほとんどです。

子育てを支える制度やサービス

公的援助やサービスは地域によってさまざま。どんな支援があるのかチェックしてみましょう。

保健所・保健センター

保健師による
育児相談や情
報提供など



民生委員・児童委員・主任児童委員

育児や福祉に
関する相談・
援助活動など



児童館・公民館

18歳未満ま
での子どもの
遊び・遊び場
の提供など



保育園(所)

一時預かりや
公開保育の利
用など



児童相談所

児童福祉司な
どの専門家によ
る相談・サービ
スなど



地域子育て支援センター

児童相談や子
育てサークル
の活動支援な
ど



どんなことでも話してみましょ。相談者のプライバシーはしっかり守られます

児童相談所全国共通ダイヤル

TEL 0570-064-000

発信元の市内局番などから発信の児童相談所につな
がります。
※PHSや一部のIP電話からはつながりません。

全国 子育て・虐待防止ホットライン

TEL 0570-011-077

(ナビダイヤル・10~17時・日祝休)

子ども虐待防止に取り組む民間団体等の専用相談
窓口につながります。
※PHSや一部のIP電話からはつながりません。

